

リコール情報：W230・MEGURO S1

(2026年6月11日届出)

《印刷用pdfをダウンロード》

リコール届出番号	5830	リコール開始日	令和8年6月11日
不具合の部位（部品名）	方向指示器（シグナルランプ）		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	方向指示器（シグナルランプ）において、バルブ製造時の工程管理が不適切なため、バルブ内に異物が混入している、または、バルブにひび割れが生じているものがある。そのため、早期にフィラメントが損傷し、シグナルランプが点灯しないおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、シグナルランプのバルブを良品に交換する。		
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車特定整備事業者等に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"><li>• 使用者：ダイレクトメール等で通知する。</li><li>• 自動車特定整備事業者等：日整連発行の機関誌に掲載する。</li><li>• 弊社のインターネットホームページに掲載する。</li></ul>		

型式	通称名	リコール対象車の車台番号（シリアル番号）の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数
8BK-BJ230A	W230 MEGURO S1	BJ230A-A00161～BJ230A-A13950 令和6年11月5日～令和8年2月27日	9,857台
(計1型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 令和6年11月5日～令和8年2月27日	計 9,857台

<備考> リコール対象車の車台番号の範囲には対象とならない車両も含まれている場合があります。

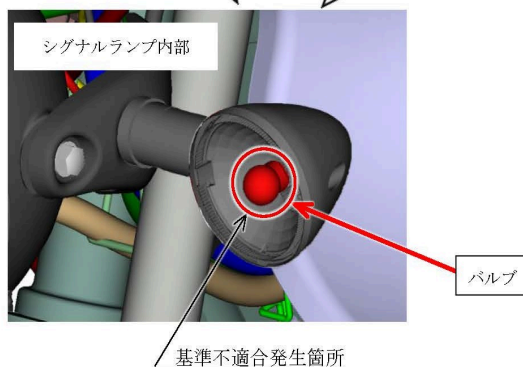
改善箇所説明図

リコール等情報対象車両の検索

車台番号から、対象車両に該当しているか  
検索できます

検索

## 改善箇所説明図 W230・MEGURO S1



（ 方向指示器（シグナルランプ）において、バルブ製造時の工程管理が不適切なため、バルブ内に異物が混入している、または、バルブにひび割れが生じているものがある。そのため、早期にフィラメントが損傷し、シグナルランプが点灯しないおそれがある。 ）

### 改善の内容

全車両、シグナルランプのバルブを良品に交換する。

注： は交換する部品を示す。

識別：弊社のインターネットホームページのリコール等対象検索に“実施済み”と表示する。

[リコール情報へ戻る](#)